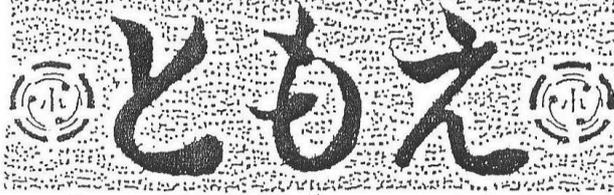


袋井あやぐも学園  
袋井北小学校

学校だより



北小 HP QRコード



令和4年度

第1号(通算438号)

令和4年4月11日発行

令和4年度 学校教育目標

**夢いだき ともに高め合う子  
協働による学校文化の創造  
～学び合い・認め合い・励まし合い～**

令和4年度 であいのステージはじめての会挨拶

校長 金田 裕之

18日間の春休みが終わり、今日から令和4年度がスタートします。素直で美しい心を持ち、笑顔が素敵な「ともえの子」のみなさんと再会できたことを、大変うれしく思います。今日の午前には入学式が行われ、新一年生も袋井北小学校の仲間入りをしました。

今日は、袋井北小学校で、みなさんが明るい気持ちで目標をもってがんばり、楽しく生活できるようにするために大切にしたいことについてお話します。

まず、昨年度と変わらないことです。「ともえ」のめあて「友だちを もっともっと 笑顔にしよう」と、「協働」を大切にしましょう。友だちの意見をしっかり聞いて、そのよいところを見つけたり、自分の考えをしっかりと伝えたりする「学び合い」や「認め合い」、がんばっている友だちや困っている友だちを応援したり元気づけたりする「励まし合い」をたくさんすることで、みんなが力を合わせてよい考えや活動をつくり出していく「協働」ができますし、友だちも自分も、みんなが笑顔になります。

次に、昨年度と変わることです。4月の目標、5月の目標というように、毎月示されていた目標を、年間5個にします。約2ヶ月ごとにするということです。そして、月の代わりに、ステージと言うことにして、年間5つのステージに魅力的な名前を付けました。例えば、4月と5月は合わせて「であいのステージ」とします。子どもたち、先生方みんなで「であい」を大切に、明るい気持ちで通える学校にしようということです。6月、7月は「つながりのステージ」、その後、「きょうりょく」「ちょうせん」「かんしゃ」というように、大切にしたいことを設定します。これらはどれも、「友だちを もっともっと 笑顔にしよう」や「協働」がたくさん起こるようになるものです。そして、ステージで大切にしたいことが、学校全体でゆたかになるように、みんなががんばって取り組む活動をつくります。例えば、4月、5月の「であいのステージ」では、「であい」がゆかたになる、みんなが新しい「であい」っていいなと思えるように、特にあいさつをがんばったらいいのではないかと先生方で話し合いました。たくさんあいさつして、「であい」が大切にされると、「友だちを もっともっと 笑顔にしよう」や「協働」もたくさん起こります。あいさつには他にも今から言うようなよさがあると言われます。

○大きな声であいさつすると気持ちがよくなります。暗い気持ちを吹き飛ばす力があります。

○あいさつすると学級の雰囲気よくなります。人間関係もよくなります。

○「先取りあいさつ」は「積極性や心配り」の力を育てます。「お返しあいさつ」は、「相手の心を受け止める力やマナー」を育てます。

あいさつがたくさん起こるようにするにはどうしたらいいか、それは、これから先生方とみなさんと協力して考えて、取り組んでほしいと思います。昨年度も、委員会活動であいさつのリーダーががんばってくれる人がいたり、学年によっては自主的な活動が起こったりしました。これから、もっとたくさんのアイデアや活動が起こるといいなと思っています。このようなことを、5つのステージそれぞれに期待しています。具体的には、担任、学年、委員会の先生方と相談してください。



今年も、コロナ対応は続くと思いますが、みなさんのアイデアや協力で楽しい学校生活を送り、素晴らしい袋井北小学校が、よりよい学校になることを期待しています。

年度末の涙の春を送り、笑顔の春を迎える季節となりました。153人の新入生と21人の新任職員を迎え、本日袋井北小学校の令和4年度がスタートしました。いまだ新型コロナウイルス感染症の流行が収まらず、不安な毎日が続いています。そのため、今までどおりの十分な警戒と対策が必要です。今後の感染拡大によっては、教育活動においても制限される面が出てくるのが予想されます。それだからこそ、子ども一人一人にとって心に残る充実した1年になるよう、職員一同じっくりと子どもに寄り添ってまいります。

さて、1年間で子どもは様々な面で成長をしていきます。もちろん、成長のスピードや成長の中身は人それぞれです。そのため、周りの友だちと比較する必要もありません。1年生は1年生なりの、6年生は6年生なりの目標をもち、「分かったこと」や「できるようになったこと」を成長の中で見つけていくことと思います。1年間で今より確実に成長したことを子どもが実感できるように、大切に子どもを見守っていきたいと思います。

そして、子ども一人一人に向けられる温かい眼差しや声掛け、そして自分の頑張りや取組を見ていてもらえること、さらに人から認められることの積み重ねが子どもには必要です。

そこで、今後も変わらず保護者の皆様や御家族の皆様、地域の皆様、そして教職員で力を合わせ、笑顔あふれる子どもたちの成長を支えていきたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

この学校だより「ともえ」は、月1回のペースで発行していく予定です。日々の袋井北小の様子については、ホームページに記事を掲載していきます。ホームページのQRコードを「ともえ」のタイトルの右側に掲載してありますので、ぜひ御覧ください。